



2026年5月28日

各 位

会 社 名 阿 波 製 紙 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 三 木 康 弘  
(コード番号：3896 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 取 締 役 上 席 執 行 役 員 岡 澤 智  
CFO  
(TEL. 088-631-8101)

## 第5次中期経営計画策定のお知らせ

当社は、2026年度から2028年度までの3年間を対象とした「第5次中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、第4次中期経営計画において、新小松島工場の立上げ、分離膜支持体生産体制の強化、事業構造改革への着手など、将来成長に向けた事業基盤の構築を進めてまいりました。

一方で、外部環境の変化、原材料価格やエネルギー価格の高騰、市場競争の激化などにより、収益面では厳しい状況が継続しており、収益力強化が重要課題となっております。

このような状況を踏まえ、第5次中期経営計画では、『超品質の実現 ～世界一のブランドの確立～』を基本方針に掲げ、「分離膜支持体を中核とした利益拡大と成長領域創出」を推進してまいります。具体的には、

- ・分離膜支持体市場における競争力強化（品質・機能・供給力）
- ・収益性を重視した事業構造改革
- ・機能材の用途展開および市場開拓
- ・新規事業創出に向けた取り組み強化
- ・DX・AI活用と人的資本強化

に取り組み、収益基盤の確立を実現してまいります。

また、「超品質」を全社共通の経営思想として位置づけ、培ってきた技術・品質・顧客基盤のコアバリューを活かし、お客様の期待を超える価値提供と新たな用途展開を通じて、持続的成長を目指してまいります。

第5次中期経営計画の内容の詳細につきましては、添付資料をご参照下さい。

以 上

# 第5次中期経営計画

FY2026 – FY2028

『超品質の実現～世界一のブランドの確立～』



阿波製紙株式会社  
2026年5月28日

The top left corner of the slide features a cluster of light blue, thin-lined geometric shapes, including several hexagons and a few triangles, some of which are overlapping.

# I 第4次中期経営計画の振り返り

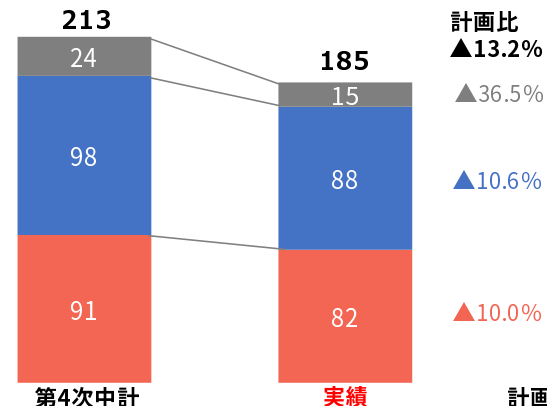
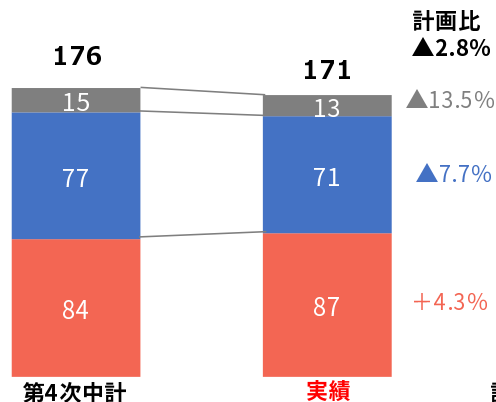
# 1. 達成状況（全社）

第111期（2025年3月期）

第112期（2026年3月期）

売上高（億円）

- 一般産業用資材
- 水処理関連資材
- 自動車関連資材



経営指標

	第4次中計	実績	計画比
営業利益額	273百万円	432百万円	+159百万円
総資産経常利益率 ROA	1.4%	1.2%	△0.2%
売上高営業利益率 ROS	1.6%	2.5%	+0.9%
総資産回転率	0.69回	0.63回	△0.06回
EBITDA	10.5億円	11.2億円	+0.7億円
D/Eレシオ	3.37倍	3.36倍	△0.01倍
【参考】			
投下資本利益率 ROIC	1.0%	1.6%	+0.6%

	第4次中計	実績	計画比
営業利益額	703百万円	58百万円	△645百万円
総資産経常利益率 ROA	2.1%	△0.3%	△2.4%
売上高営業利益率 ROS	3.3%	0.3%	△3.0%
総資産回転率	0.81回	0.64回	△0.17回
EBITDA	22.5億円	13.0億円	△9.5億円
D/Eレシオ	3.00倍	3.12倍	+0.12倍
【参考】			
投下資本利益率 ROIC	2.6%	0.2%	△2.4%

## 2. 最終年度（2026年3月期）計画実績差異

	計画	実績	差異	達成率
売上高	213億円	185億円	△28億円	86.8%
自動車関連資材	91億円	82億円	△9億円	90.0%
水処理関連資材	98億円	88億円	△10億円	89.4%
一般産業用資材	24億円	15億円	△9億円	63.5%
営業利益	703百万円	58百万円	△645百万円	※ ー
売上高営業利益率 ROS	3.3%	0.3%	△3.0%	ー
総資産経常利益率 ROA	2.1%	△0.3%	△2.4%	ー
投下資本利益率 ROIC	2.6%	0.2%	△2.4%	ー

### 未達要因

#### 【売上】

##### 自動車関連資材

- ・外部環境変化による原材料の調達不安定化
- ・値上げ影響による主要品番の数量減

##### 水処理関連資材

- ・原材料不足と中国新規顧客拡販の遅れ

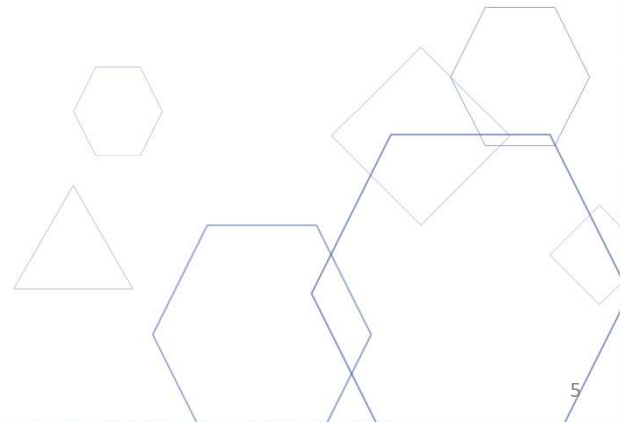
##### 一般産業用資材

- ・EV市場急減速による断熱材案件の延期、消滅

#### 【営業利益】※

- ・上記売上減少に加え、原燃料価格等の高騰による影響
- ・競争激化による市場価格の下落、価格転嫁が不十分


# Ⅱ 第5次中期経営計画



# 1. 第5次中期経営計画の位置づけ

AWA Vision 2035

“KAMIにできないことはない”  
紙を超え  
期待を超え  
感動を生み出す会社



## 第4次中期経営計画

2024年4月～2026年3月

### 事業基盤構築フェーズ

- ・新小松島工場立上げ
- ・分離膜支持体生産体制強化
- ・構造改革着手



### 重点課題

- ・新小松島工場早期フル稼働
- ・事業構造改革の完遂

## 第3次中期経営計画

2021年4月～2024年3月

## 第5次中期経営計画

2026年4月～2029年3月

### 収益基盤確立フェーズ

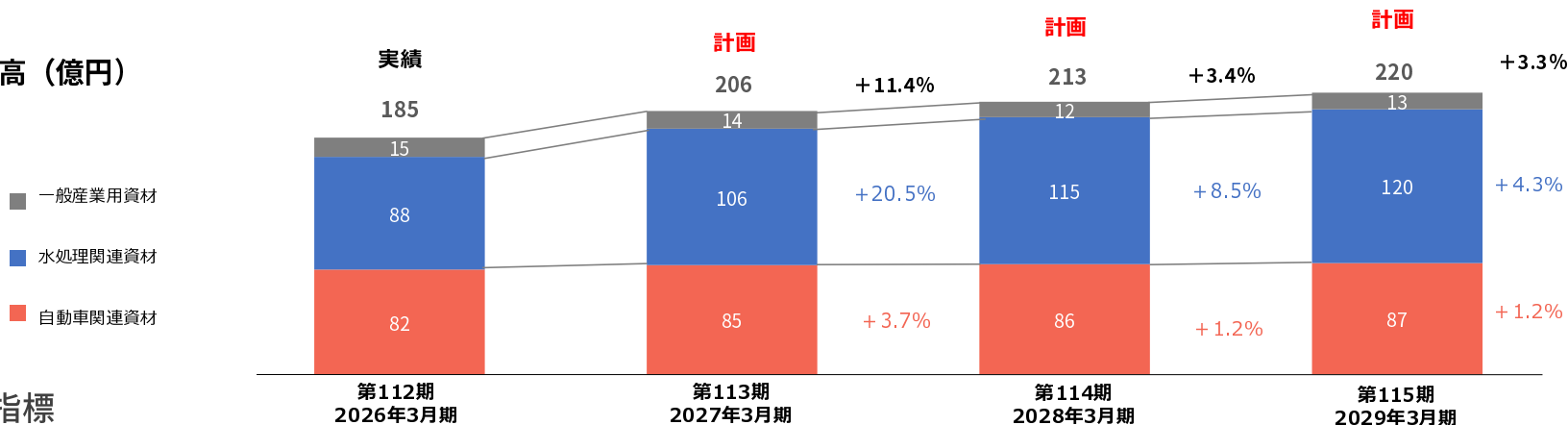
#### — 分離膜支持体を中核とした

#### 利益拡大と成長領域創出—

- ・分離膜支持体市場における競争力強化（品質・機能・供給力）
- ・収益性を重視した事業構造改革
- ・機能材の用途展開および市場開拓
- ・新規事業創出に向けた取り組み強化

## 2. 第5次中期経営計画

売上高 (億円)



経営指標

	第112期 2026年3月期	第113期 2027年3月期	第114期 2028年3月期	第115期 2029年3月期
営業利益額	58百万円	691百万円	675百万円	710百万円
総資産経常利益率 ROA	△0.3%	1.9%	1.5%	1.7%
売上高営業利益率 ROS	0.3%	3.4%	3.2%	3.2%
総資産回転率	0.64回	0.70回	0.74回	0.78回
EBITDA	13.0億円	20.1億円	22.9億円	25.3億円
D/Eレシオ	3.12倍	2.85倍	2.64倍	2.35倍

【参考】

投下資本利益率 ROIC	0.2%	2.3%	2.3%	2.5%
--------------	------	------	------	------

### 3. 中期方針

**超品質の実現**  
～世界一のブランドの確立～

分離膜支持体を中核とした利益拡大と成長領域の創出を目指します

分離膜支持体  
市場における  
競争力強化

収益性を  
重視した  
事業構造改革

機能材の用途  
展開および  
市場開拓

新規事業創出  
に向けた取り  
組み強化

DX・AI活用  
と人的資本  
強化

持続的成長

収益基盤確立

企業価値向上

# 4. 超品質の実現

機能材料分野を中核としながら、培ってきた技術・品質・顧客基盤のコアバリューを活かし、お客様の期待を超える価値提供と新たな用途展開を通じて、持続的成長を目指します

最高品質

+α

超品質

技術

- ・機能材料
- ・技術対応力
- ・用途展開

品質

- ・安定品質
- ・信頼性
- ・安定供給

顧客基盤

- ・長期採用
- ・信頼関係
- ・継続取引

お客様の期待を  
超える価値提供

- ・課題解決
- ・感動
- ・安心
- ・長期信頼

持続的成長

- ・収益性
- ・事業成長
- ・ブランド確立
- ・企業価値向上



## 免責事項

### 見通しに関する注意事項

本資料には、当社および当社のグループ会社（以下「当社グループ」といいます）の財務状況、経営成績、事業等に関する将来予想が含まれております。これらの将来予想は、その性質上、発生の可能性が不確実な将来の事由や環境等に左右されるため、リスクや不確実性を内在しています。そのため、実際の財務状況、経営成績、事業等が、これらの将来予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご了承ください。